



ユーザーガイド

© Copyright 2016 HP Development Company,
L.P.

FreeSync および Radeon は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2016年12月

製品番号：906986-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの機能、設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

⚠ 警告！ その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

⚠ 注意： その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

📖 注記： 重要な補足情報です。

💡 ヒント： 役に立つヒントを示します。



この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報	1
製品の特長および各部	2
特長	2
背面の各部	3
モニターの設定	4
モニターを設置するときの注意	4
モニター スタンドの取り付け	5
ケーブルの接続	6
モニターの調整	8
モニターの電源投入	9
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー	9
モニターの取り付け	10
モニター スタンドの取り外し	10
VESA 準拠の取り付け器具の取り付け	11
2 モニターの使用	12
ソフトウェアおよびユーティリティ	12
情報ファイル	12
Image Color Matching ファイル	12
INF および ICM ファイルのインストール	12
オプティカル ディスクからのインストール（一部の地域で利用可能）	12
Web サイトからのダウンロード	13
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用	13
機能ボタンの割り当て	14
低ブルー ライト モードの調整	15
自動スリープモードの使用	15
3 サポートおよびトラブルシューティング	16
一般的なトラブルの解決方法	16
ボタンのロックアウト	17
製品サポート	17
お問い合わせになる前に	17
製品ラベルの位置	18

4 モニターの保守	19
保守に関するガイドライン	19
モニターの清掃	20
モニターの運搬	20
付録 A 技術仕様	21
プリセット ディスプレイ解像度	22
ユーザー モードの使用	23
電源アダプター	23
省電力機能	23
付録 B ユーザー サポート	24
サポートされている支援技術	24
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	24

1 お使いになる前に

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品に関するご注意）を参照してください。このドキュメントは、オプティカルディスク（付属している場合）またはドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 電源コードに3ピンのアタッチメントプラグがある場合は、コードを3ピンのアース（接地）された電源コンセントに接続してください。必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

⚠ 注意： モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。

お使いのHP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にLCDモニターを不用意に置いた場合、LCDモニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

LCDモニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。


📖 注記： この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。


製品の特長および各部

特長

この製品は AMD FreeSync™対応モニターで、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことができます。モニターに接続されている外部ソースに、FreeSync ドライバーがインストールされている必要があります。

AMD FreeSync テクノロジーは、ゲームやビデオが滑らかに動かなかったり目に刺激を与えたりする問題をなくすために、モニターのリフレッシュレートをグラフィックスカードのフレームレートに固定します。特定の機能については、お使いのコンポーネントやシステムの製造元に問い合わせてください。


 **重要** : AMD Radeon™グラフィックスおよび AMD A シリーズ APU 準拠のモニターでは、DisplayPort/HDMI Adaptive-Sync が必要です。HDMI 経由での FreeSync をサポートするには、AMD 15.11 Crimson 以降のドライバーが必要です。

 **注記** : 適切なリフレッシュレートは、モニターによって異なります。詳しくは、<http://www.amd.com/ja-jp/innovations/software-technologies/freesync/> を参照してください。

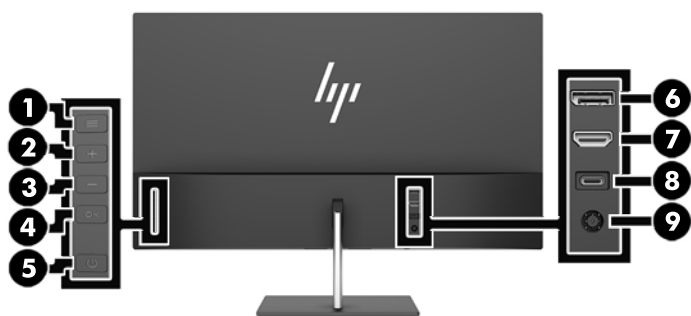
モニターで FreeSync を有効にするには、モニターの **メニュー** ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを表示します。[カラー コントロール]→[表示モード]→[ゲーミング]の順に選択します。

発光ダイオード (LED) バックライト モニターでは、アクティブマトリクス方式の IPS パネルを採用しています。このモニターの特長は以下のとおりです。

- 1920×1080 FHD 以下の解像度をサポートする、23.8 インチ (対角長 60.5 cm) の表示領域
- 傾斜角度調整機能付きでさまざまな角度からでも見やすい表示画面
- HDMI (High-definition Multimedia Interface) ビデオ入力
- DisplayPort ビデオ入力
- USB Type-C ポート (最大 60 W の電源を供給可能)
- プラグアンドプレイ機能 (お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合)
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、OSD による画面調節機能 (10 言語に対応)
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ソフトウェア
- デジタル入力で使用される HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection)
- モニター ドライバーおよび製品の説明書が収録された『Software and Documentation』(ソフトウェアおよびドキュメンテーション) オプティカルディスクが一部の地域のモニターに付属
- モニターを壁面取り付け器具またはスイングアームに取り付けるための VESA 準拠の取り付け器具
- 画面からの刺激を低減する低ブルーライトモード

 **注記** : 安全情報および規定に関する情報について詳しくは、『Product Notices』(製品に関するご注意) を参照してください。このドキュメントは、オプティカルディスク (付属している場合) またはドキュメントキットに収録されています。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして**[製品の検索]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

背面の各部



名称	機能
1	メニュー ボタン ボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりできます
2~4	機能ボタン OSD メニューを操作するとき 사용합니다。OSD メニューを開くと、それぞれのボタンの上に、操作に関するインジケータが表示されます 注記: OSD メニューの機能ボタンを再設定して、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。詳しくは、 14 ページの機能ボタンの割り当て を参照してください
5	電源 ボタン モニターの電源をオンまたはオフにします
6	DisplayPort 入力デバイスの DisplayPort ケーブルをモニターに接続します
7	HDMI 入力端子 入力デバイスの HDMI ケーブルをモニターに接続します
8	USB Type-C ポート 入力デバイスの USB Type-C ケーブルをモニターに接続します
9	電源コネクタ AC アダプターを接続します


モニターの設置

モニターを設置するときの注意

モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

スタンドを取り付ける場合は、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。これにより、画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロール ボタンを損傷したりすることを防止できます。



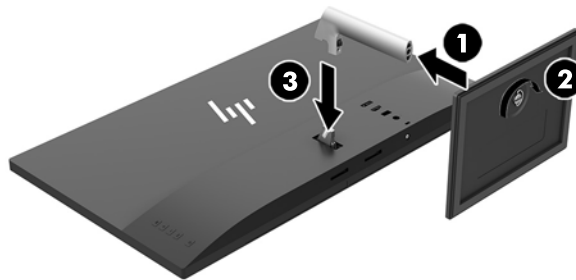
 **注記**：お使いのモニターの外観は、この図のモニターと多少異なる場合があります。

モニター スタンドの取り付け


⚠ 注意 : 画面は壊れやすいものです。画面に触れたり、圧力を加えたりすることは避けてください。画面が損傷するおそれがあります。

💡 ヒント : モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光がディスプレイパネルの縁で反射するような向きにならないように配置してください。


1. モニターを梱包箱から取り出し、乾いた清潔な布を置いた安定した平らな場所に、ディスプレイパネル前面を下向きにして置きます。
2. 支柱部分にスタンドを差し込み (1)、スタンドの底面から固定用ネジ (2) を締めて支柱部分を固定します。
3. カチッと音がして所定の位置に固定されるまで、支柱部分をモニター パネルの背面のスロットに差し込みます (3)。




ケーブルの接続

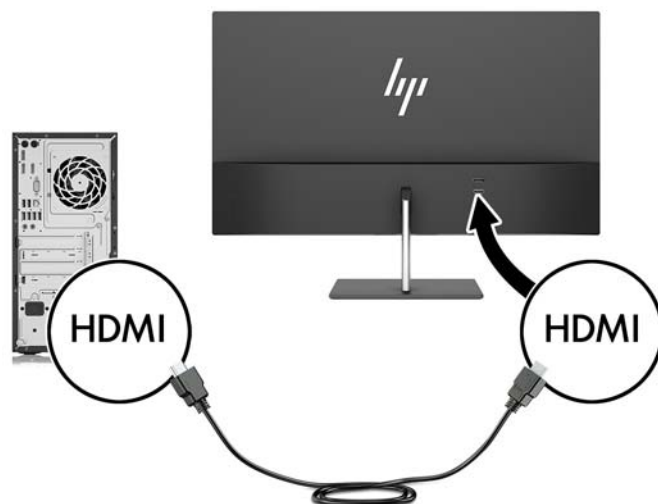
 **注記**：モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ビデオケーブルを接続します。

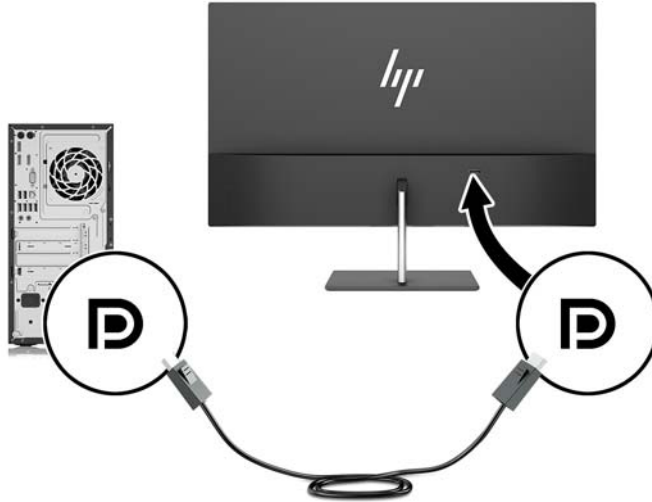
 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、モニターの背面にある - (マイナス) ボタンを押すか、**メニュー** ボタンを押し、**[入力コントロール]**を選択してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを使用します。

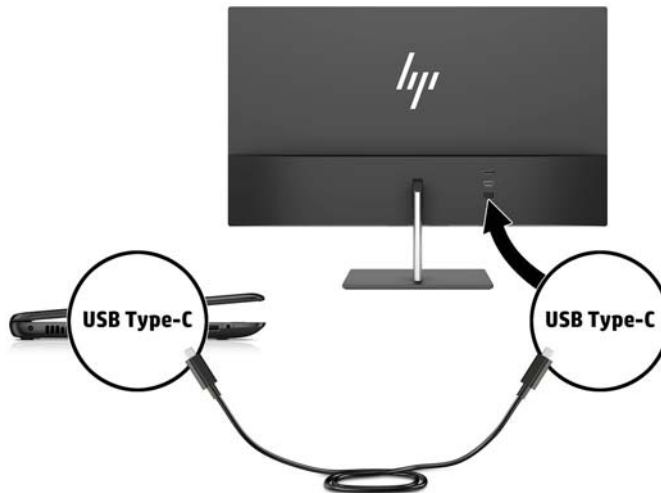
- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスに接続します。



- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。

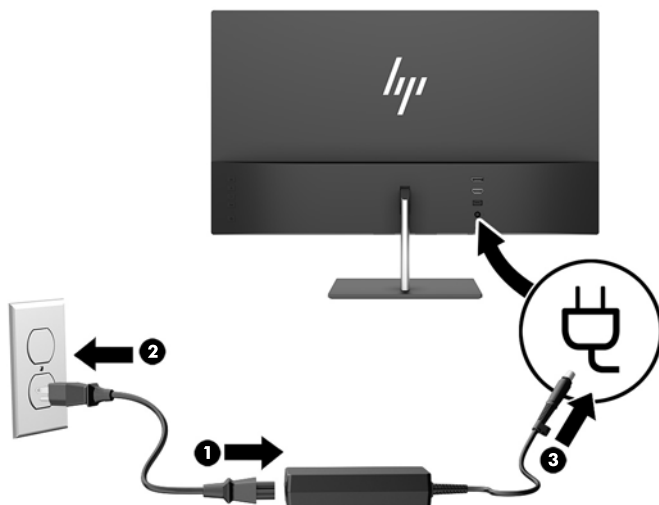


3. 付属の USB Type-C ケーブルの一方の端をモニターの USB Type-C ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB ポートに接続します (モニターに付属する HP 認定の USB Type-C ケーブルのみを使用してください)。



D/⚡ 最大60 W
出力電力 : 5V、5.25V、9V、12V、15V、20V (3A)

4. 電源コードの一方の端を AC アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、電源コードの丸い端をモニターに接続します (3)。



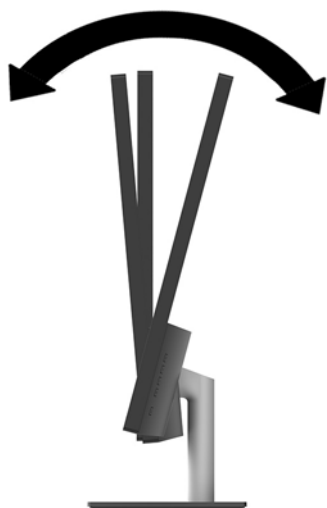
⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は重要な安全機能です。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

モニターの調整

モニターのパネルを前方または後方に傾けて、見やすい位置に設定します。



モニターの電源投入

1. 入力デバイスの電源ボタンを押して、入力デバイスの電源を入れます。
2. モニター背面の電源ボタンを押して、モニターの電源を入れます。



⚠ 注意： モニターを使用しない状態が 12 時間経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります。一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面への「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

🔍 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

🔍 注記： 電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。モニターの背面のメニュー ボタンを押して、**[電力コントロール]**→**[電源ランプ]**→**[オフ]**の順に選択します。

モニターの電源が入ると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス (オンまたはオフ、工場出荷時の初期設定はオン)、現在のプリセット画面解像度、および推奨されるプリセット画面解像度が示されます。


モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー


IPS モニター モデルは、超広視野角および高画質を実現する IPS (In-Plane Switching) ディスプレイ技術を使用して設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、動きのない固定された静止画像をスクリーンセーバーを使用しないで長時間表示するような用途には適していません。このような用途としては、たとえば、監視カメラ映像、ビデオゲーム、商品ロゴ、テンプレートなどを長時間表示する場合などがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

モニターを取り付け


モニター パネルは、壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：** この装置は、UL または CSA 準拠の壁への取り付け器具で支えられるように設計されています。

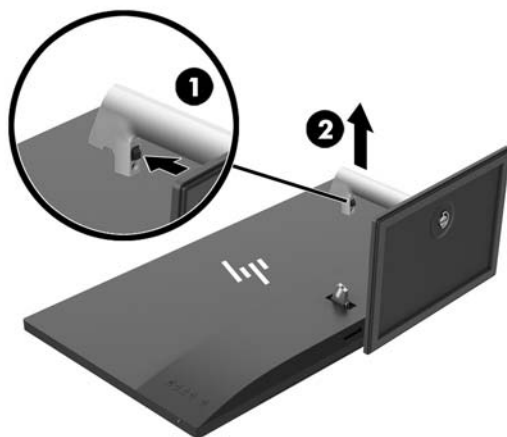
モニターが TCO 認定を受けている場合、モニター パネルに接続する電源コードはシールドされた電源ケーブルである必要があります。シールドされた電源ケーブルの使用は、ディスプレイ製品の TCO 認定基準を満たしています。TCO 要件について詳しくは、<http://www.tcodevelopment.com/>（英語サイト）を参照してください。

 **注意：** このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

モニター スタンドの取り外し

 **注意：** モニターの取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

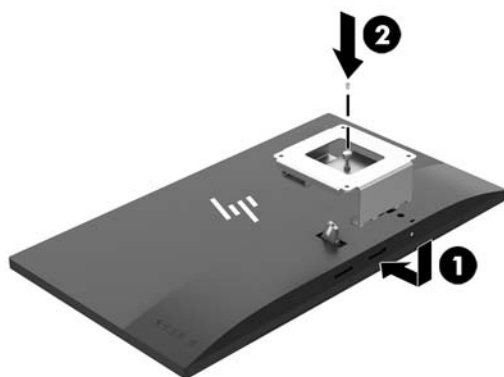
1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. リリースラッチを押し (1)、モニター パネルからスタンドを取り外します (2)。



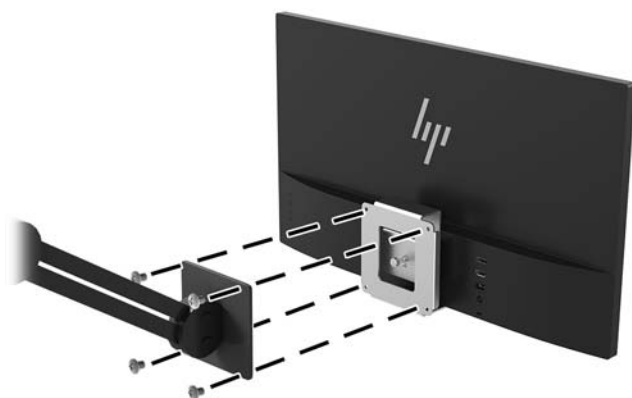
VESA 準拠の取り付け器具の取り付け

VESA 準拠の取り付け器具がモニターに付属しており、モニター パネルを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けるときに使用できます。

1. モニター スタンドを取り外します。詳しくは、[10 ページのモニター スタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. モニター パネルからネジを取り外して保管します。
3. VESA 準拠の器具のタブを、カチッと音がするまでモニター パネルの底面にあるスロットに差し込んで所定の位置に固定し (1)、手順 2 で取り外したネジで器具の上部を固定します (2)。



4. モニターをスイング アームまたはその他の取り付け器具に取り付けるには、4 本の取り付けネジを、取り付け器具にある穴に通してから、VESA 準拠の器具のネジ穴に差し込みます。



2 モニターの使用

ソフトウェアおよびユーティリティ

オプティカルディスク（モニターに付属している場合）には、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録されています。オプティカルドライブがない場合は、<http://www.hp.com/jp/support/> からファイルをダウンロードできます。

- INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）
- [HP Display Assistant]ソフトウェア


情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基いて記述されています。

INF および ICM ファイルのインストール

INF および ICM ファイルを更新する必要がある場合は、次のどちらかの方法を使用してファイルをインストールしてください。

オプティカルディスクからのインストール（一部の地域で利用可能）

INF および ICM ファイルをオプティカルディスクからコンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクをコンピューターのオプティカルドライブに挿入します。オプティカルディスクのメニューが表示されます。
2. **[HP Monitor Software Information]**（HP モニターソフトウェア情報）ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]**（モニタードライバーソフトウェアをインストールする）を選択します。

4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュレートが表示されていることを確認します。

Web サイトからのダウンロード

オプティカルドライブを搭載したコンピューターまたは入力デバイスがない場合は、以下の操作を行って、最新バージョンの INF および ICM ファイルを HP のディスプレイのサポート Web サイトからダウンロードします。

1. HP の Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスします。
2. [ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 画面の説明に沿ってお使いのモニターを選択し、ソフトウェアをダウンロードします。

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのパネルにあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

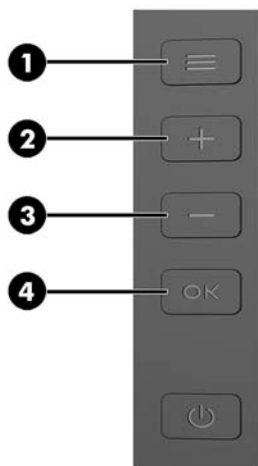
1. モニターの電源が入っていない場合は、**電源**ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、パネルにある 4 つのボタンのどれかを押してボタンを有効にします。次に、**メニュー**ボタンを押して OSD メニューを開きます。
3. 3 つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。オンスクリーン ボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、OSD メイン メニューのメニュー項目を示します。

メイン メニュー	説明
ブライトネス	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期設定は 90 です
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します。工場出荷時の初期設定は 80 です
カラー コントロール	画面の色を選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニュー コントロール	OSD コントロールを調整します
管理	DDC/CI の設定を調整して、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
言語	OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

機能ボタンの割り当て

パネルにある4つのボタンのどれかを押すと、ボタンが有効になり、ボタンの上にアイコンが表示されます。工場出荷時の初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下に示します。




ボタン	機能
1 メニュー ボタン	ボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりできます
2 + (プラス) ボタン	OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます OSD メニューが閉じているときに押すと、次のアクティブな入力コネクタ (USB Type-C、HDMI、または DisplayPort) に進みます
3 - (マイナス) ボタン	OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます OSD メニューが閉じているときに押すと、[表示モード]メニューが開きます
4 OK ボタン	OSD メニューが開いているときに押すと、選択を確定します OSD メニューが閉じているときに押すと、情報メニューが開きます

機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

機能ボタンを割り当てるには、以下の操作を行います。

1. リアパネルにある4つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、[メニュー](#) ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. OSD メニューで、[メニューコントロール]→[ボタンの割り当て]の順に選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

 **注記:** 割り当てなおすことができる機能ボタンは3つのみです。[メニュー](#) ボタンおよび[電源](#) ボタンは割り当てなおすことができません。

低ブルーライトモードの調整

ディスプレイのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。このモニターでは、ブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減する設定を選択できます。

ディスプレイからのブルーライトの発光を調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの背面にある-（マイナス）ボタンを押して、**[表示モード]**メニューを開きます。
2. 目的の設定を選択します。
 - **[低ブルーライト]**：ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます
 - **[読書]**：ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します
 - **[夜間]**：ブルーライトの発光が最も少なくなるように調整して、睡眠への影響を軽減します
3. **[Save and Return]**（保存して戻る）を選択して設定を保存し、**[表示モード]**メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、**[キャンセル]**を選択します。
4. メインメニューから**[Exit]**（終了）を選択します。

自動スリープモードの使用

このモニターは、**[自動スリープモード]**を設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合（初期設定では有効）、ホストPCから低電力モードの信号（水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態）を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態（スリープモード）になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は0.5 W 未満です。ホストPCからアクティブな信号を受け取ると（ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など）、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードはOSDメニューで無効にできます。**メニュー**ボタンを押してOSDメニューを開きます。OSDメニューで、**[電力コントロール]**→**[自動スリープモード]**→**[オフ]**の順に選択します。

3 サポートおよびトラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。


トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されないか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源ボタンがオフになっている	モニターの背面にある電源ボタンを押します 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 6 ページのケーブルの接続 を参照してください
	システムがスリープモードになっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [入力コントロール] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します	
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度が低すぎる	OSD メニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
[Check Video Cable] と画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[入力信号が範囲外] というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳しくは 22 ページのプリセットディスプレイ解像度 を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	OSD メニューを開き、 [電力コントロール] → [自動スリープモード] の順に選択して、自動スリープを [オン] に設定します
[OSD Lockout] と画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	サイドパネルの メニュー ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD メニューのロックを解除します
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが開いていない場合にのみ使用できます。


製品サポート

モニターの使用について詳しくは、HP のサポート Web サイト、<http://www.hp.com/jp/support/> にアクセスして[製品の検索]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記** : モニターの説明書、リファレンスガイド、およびドライバーは、<http://www.hp.com/jp/support/> から入手できます。

以下の作業を実行できます。

- HP のサービス担当者とオンラインでチャットする

 **注記** : ご希望の言語がチャット サポートに対応していない場合は、英語でのサポートをご利用ください。

- HP のサービスセンターを探す

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには製品番号とシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニター パネルの底面にあります。




4 モニターの保守

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** モニター画面への「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニター スタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切ってモニターの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。


⚠注意：布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

注意：ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニター モデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

ディスプレイ	23.8 インチ (60.5 cm) ワイドスクリーン
種類	IPS
表示可能画像サイズ	60.5 cm / 23.8 インチ (対角方向)
傾斜角度	-5 ~ 23°
質量	
スタンドを除く	3.2 kg
スタンドを含む	3.7 kg
寸法 (スタンドを含む)	
高さ	38.8 cm
奥行き	145 cm
幅	54 cm
最大グラフィックス解像度	1920×1080 (60 Hz)
最適グラフィックス解像度	1920×1080 (60 Hz)
ドットピッチ	0.3 mm
ピクセル密度 (Pixels Per Inch)	92 PPI
水平周波数	30 ~ 135 kHz
垂直周波数	48 ~ 75 Hz
環境条件 動作保証温度	
動作保証温度 (動作時)	5 ~ 35°C
保管場所の温度	-20 ~ 60°C
相対湿度	20 ~ 70%
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
動作保証高度 :	
動作時	0 ~ 5,000 m
保管時	0 ~ 12,192 m

測定された消費電力：

最大電力	105 W
通常設定	30 W
スリープ時	0.5 W 未満
電源切断時	0.3 W 未満

入力端子	DisplayPort×1、HDMI 入力端子×1、USB Type-C ポート×1
------	--

プリセット ディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、工場出荷時設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.469	59.94
2	720×480	31.469	59.940
3	800×600	37.879	60.317
4	1024×768	48.363	60.004
5	1280×720	45	60
6	1280×800	49.702	59.81
7	1280×1024	63.981	60.02
8	1440×900	55.469	55.901
9	1600×900	60	60
10	1680×1050	65.29	59.954
11	1920×1080	67.5	60

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480p	720×480	31.469	60
2	576p	720×576	31.25	50
3	720p50	1280×720	37.5	50
4	720p60	1280×720	45	60
5	1080p60	1920×1080	67.5	60
6	1080p50	1920×1080	56.25	50

ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。


電源アダプター

製造元	モデル番号	電源電圧
Delta Electronics (JIANGSU) Ltd.	TPC-DA52	19.5 V DC (7.69 A の場合)

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。短時間のウォームアップ後に通常の動作状態に戻ります。

エネルギーセーブモードの設定の手順については、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、エネルギーセーブ機能、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。


モニターの[Sleep Timer]（スリープタイマー）ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターの[Sleep Timer]ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせる機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、モニターに接続されているお使いの入力デバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。